

福祉 ぐんま

NO.254
2015 秋号



社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会



■主な内容

- *特集 福祉教育の推進…2~3
- *平成27年度 群馬県社会福祉大会のお知らせ…3
- *福祉バス～秋・冬のおススメのお出かけ先…4
- *共同募金会からのお知らせ…5
- *ボランティア情報…6
- *生活困窮者自立支援事業の取り組みについて…7
- *経営相談Q&A…7
- *バスツアー開催のお知らせ…8
- *素敵な笑顔…8

救護施設 緑荘
岡部和義さん
(関連記事は8ページに掲載)



「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。

福祉教育の推進

福祉教育は、1970年代から計画的にその取り組みが推進され、現在では社会福祉協議会、学校、福祉施設、障害のある人などの当事者、ボランティア、民生委員・児童委員、NPO、地域住民など地域のさまざまな関係者とともにすすめられています。

社会福祉協議会では、地域における特色を活かしながら、各学校や教育関係機関、地域の皆様と協働・連携し、誰もが住みなれた家庭、地域でその人らしく安心して暮らせる福祉社会を目指して、地域福祉の推進にむけ、社会福祉協力校事業をはじめとする福祉教育を積極的に推進しています。

社会福祉協力校事業の実施 ●●●●●●●●●●

本会では、昭和52年から「学童・生徒のボランティア活動普及事業」いわゆる社会福祉協力校事業を、県・市町村教育委員会や市町村社会福祉協議会の協力を得て推進しています。今年度までに県内小・中・高等学校 全学校数の8割以上にあたる延べ510校の学校を社会福祉協力校として指定し福祉教育の推進に努めています。

また併せて、学校・家庭・地域が連携して、地域に密着した福祉教育の推進を図るため、概ね中学校区を単位とした地域を指定する地域指定福祉協力校モデル事業の実施も行っています。

社会福祉協力校、社会福祉協議会、教育委員会等の関係者を対象にした協力校連絡会議も開催し、各地域における取り組みについての情報交換も行っています。



福祉教育実践研究会の開催 ●●●●●●●●●●

県社協と市町村社協が中心となり、学識経験者や学校教職員、行政機関、福祉施設関係者等の協力を得ながら、福祉教育をすすめる上での課題の共有や実践についての協議・検討を行う場として「福祉教育実践研究会」を平成23年度に発足させました。

福祉体験学習実態調査や福祉教育プログラム集の作成、既存の防災の取り組みに新たに福祉的な視点を加えた防災と福祉教育ハンドブックの作成、教育委員会との情報交換・連携、福祉教育の成果・意義に着目した効果的な福祉教育の進め方等について協議・情報交換を行っています。



福祉教育セミナーの開催 ●●●●●●●●●●

学校教職員や社会福祉協議会職員など県内の福祉教育に関わる方々にお集まりいただき、講義や情報交換を通して、福祉教育の展開や実践を模索する機会として福祉教育セミナーを開催しています。

平成27年度は福祉教育を通じて子どもたちの学びの可能性を広げ深めていくためにはどうすれば良いのか、アクティブ・ラーニングの視点を踏まえ、ねらいと学習過程、ふり返り・評価等について講義や参加者同士の情報交換を通して学びました。



関係機関との連携等

2ページの事業以外にも、市町村社協で行われている福祉教育の場への支援や、群馬県共同募金会主催の「赤い羽根教室」への協力、関東運輸局群馬運輸支局主催で行われているバリアフリー教室への協力など、関係機関と連携しながら福祉教育の推進に努めています。



また、県社協では昨年度より現行の福祉教育用教材「福祉教育の進め方～ぐんまを担う子どもたち～」を、関係機関の協力のもと作成委員会ならびに作成部会において内容改定に向け検討・協議し、福祉教育教材の試作品を作成いたしました。

地域における福祉力を高める為に、今後も学校をはじめ関係機関と協働・連携し、地域の皆様のご協力のもと地域を地盤とした地域ぐるみの福祉教育の実践により、広がりのある福祉教育の展開を目指します。

お・知・ら・せ

平成二十七年 群馬県社会福祉大会

【テーマ】「互いに支え合う地域づくり」

永年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、だれもがともに支え合い、その人らしく安心して暮らせる福祉社会の実現をめざして開催します。

【期 日】

平成27年11月18日(水)

【会 場】

前橋市民文化会館大ホール

【内 容】

第一部 記念講演

午前10時30分～12時

演題 「ゆとり・ユーモア・帰りは元気！」

講師 宮本 隆治 氏(フリーアナウンサー)



第二部 式典

午後1時～午後2時30分

【主 催】

群馬県・群馬県教育委員会・群馬県社会福祉協議会

群馬県共同募金会

【会 場】

前橋市民文化会館大ホール

【連絡先】

群馬県社会福祉協議会(大会 事務局)

☎ 027(255)6033

福祉バス「愛の募金号」

～ 秋・冬 のオススメのお出かけコース

福祉バス「愛の募金号」は、上毛新聞「愛の募金」に寄せられた善意をもとに購入し、県へ寄贈され、本会では県より委託を受けて運行しており、障害者も利用できるバスを貸出することにより、移動困難者の福祉向上を図ることを目的としています。

3月より新型のバスとなり、特徴としては、外装を黄色とし、弱視の方にも分かりやすい色とし、車いすでの乗車席が1台分増えた他、座席の前後の間隔を広げ、乗客の動作と介助が行いやすくなり、荷物棚に座席番号と点字シールを貼る等、視覚障害者にも分かりやすいものとなっています。

今回は、福祉バスの運転士からこの秋・冬に出かける際のオススメの行程を紹介いたします。

● 宿泊コース

栃木県方面

栃木県身障者保養施設、那珂川苑

1日目

外地酒造見学	益子の酒蔵、見学・試飲・買い物アルコールの苦手な方も楽しめます
↓	
益子焼き	昼食と買い物、陶器作り・絵付けも可能
↓	
烏山町山あげ会館	祭りの様子を映像とロボットによる説明
↓	
那珂川苑	宿泊、身障者保養施設、ふぐ料理もあります

2日目

那珂川やな場	予約すれば鮎・うなぎ等を食べたりお土産に
↓	
今市の漬け物店	らっきょう等、漬け物の試食・漬け物のにぎりの試食・買い物
↓	
日光おかき工房	お菓子工場買い物・試食多数のため時間たっぷり
↓	
昼食	豆腐懐石・宇都宮餃子・佐野ラーメン・和定・洋食・麺類(おすすめは佐野ラーメン)
↓	
前橋帰着	

● 日帰りコース

①大洗・那珂湊魚市場（茨城県）

めんたいパーク工場見学と試食・魚市場買い物と昼食にぎり寿司
干しいもの試食と買い物

②佐野・いちご狩り（栃木県）

厄除け大師参拝・佐野ラーメン工場見学と昼食いちご狩り

③所沢航空発祥記念館（埼玉県）

三芳PAで買い物（行きまたは帰り）・記念館にて昼食・館内及び映像の見学

④館林市（県内）

日清製粉ミュージアム見学・昼食館林うどん・城沼の白鳥見学またはいちご狩り

⑤藤岡市・富岡市（県内）

みかん狩りまたは富岡製糸・こんにやくパーク工場見学・試食・買い物

★県社協ホームページにもオススメの行程を掲載してありますのでご参考ください（<http://www.g-shakyo.or.jp/>）。

共同募金運動が始まります 10月1から運動開始

今年の募金目標額 305,273,000円
(一般募金 198,000,000円 歳末募金 107,273,000円)

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

群馬県では68回目となる共同募金運動が10月1日から始まります。

あなたの募金は、あなたの町へ。

赤い羽根に協力して下さったみなさまのやさしさは、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する身近な地域の福祉に役立てられています。



よりいっそう「じぶんの町をよくするしくみ」となるように取り組んでいます。

～赤い羽根のつかいみちをご紹介します～

障がいがあっても働き隊 仕事体験の場



利根沼田地域ボランティアセンター

たくさんの笑顔があふれる町へ。
今年もご理解ご協力をお願いいたします。

詳しい募金のつかいみちは
「赤い羽根データベースはねっと」へ QRコード
>><http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>



配分申請受付 12月25日締切 「地域から孤立をなくそう」

～みんなが社会の一員として包み支えあうしくみづくり～

全国共通助成テーマとして、上記テーマが掲げられています。地域で孤立するおそれのある人(※)を包み支えあうしくみづくりなど、今日的な福祉課題に対してアプローチする事業、また、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、自立支援に必要なサービスの先駆的開発など、誰もが安心して暮らせる地域を構築するために、本県においても、この全国共通助成テーマに沿って、特別配分を実施します。



不登校ひきこもりから一歩外へ
フリースペース



ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」

【配分対象例】

不登校の子ども フリースクール、障がいがある人の制度外の就労支援、DV被害者のシェルター運営、災害避難者支援、多文化共生活動 など

※地域で孤立するおそれのある人

ひとり親家庭、障がいのある人、ひきこもり、経済的困窮者、独居高齢者、被災避難者、地域に暮らす外国人 など

詳しくは、群馬県共同募金会のホームページをご覧ください。

www.akaihane-gunma.or.jp/

社会福祉法人 群馬県共同募金会
〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町 13-12
群馬県社会福祉総合センター4階
TEL 027-255-6596 FAX 027-255-6214

Hello! ボランティアセンター

南牧村社会福祉協議会

ボランティア情報

南牧村社会福祉協議会では、ボランティアによる給食サービス事業を実施しています。

100名のボランティアの方々が、約40名の高齢者に年間45回お弁当を交代で調理から配達まで行っています。また、お弁当の配達時に一声かけて体調など様子も伺い安否確認を行っています。

そのほか、一人暮らし高齢者の見守りもボランティアで行っています。村内の一人暮らし高齢者には近所の方に見守り推進員として見守りをしてもらい、住み慣れた地域で暮らせるよう支援をしています。

このようにボランティアによる住民同士の支えあいによって地域福祉を推進していますが、現在、ボランティアの方々も高齢になりつつあり、新たな担い手が必要となってきました。今後、社会福祉協議会としてボランティア活動に関する相談、支援、育成等の事業を推進していき、多くの方がボランティア活動をとおして、住みやすい村づくりが出来るように努力していきたいと思ひます。



お弁当づくりの様子



お弁当を届けている様子

社会福祉法人 南牧村社会福祉協議会
〒370-2804 甘楽郡南牧村大字警戸207活性化センター内
TEL 0274-87-2676 FAX 0274-87-2676

群馬カラオケ連盟より車椅子を寄贈いただきました

昨年に引き続き、群馬カラオケ連盟様（代表 中村四七治様）より、車イスを5台寄贈いただきました。群馬カラオケ連盟では、「愛のチャリティ発表会」を毎年開催しており、その浄財より車椅子をご寄贈頂きました。寄贈の際にカラオケ連盟の皆様からは「社会福祉推進のため有効に活用してほしい」とのお言葉をいただきました。

寄贈いただきました車椅子は、県内の社会福祉協力校5校へすべて寄贈し、福祉教育等に役立てていただいています。心温かいご支援、誠にありがとうございました。



群馬カラオケ連盟（中央3名）の方々から寄贈を受ける片野会長（右）と山後常務理事（左）

生活困窮者自立支援事業の 取り組みについて

まえばし生活自立相談センター



ようお手伝いしていきます。
相談内容に応じて、民生委員児童委員さんと協働しながら支援を進めています。

これまでなかなか思うようにいかなかったことなどを、落ち着いてもう一度考えなおしてみる場所、気軽に相談できる場所でありたいと思っています。利用は無料です。秘密は守られますので安心してご相談ください。

「利用できる対象の方」 前橋市在住の方

経済的に困窮されている方で、生活のことや就職のこと、将来のこと、家族のことなどでお困りの方。

(ご家族等からのご相談もお受けします。)

「開所時間」

月～金 8時30分～17時15分
(祝日・年末年始を除く)

「問い合わせ先」

前橋市役所1階
社会福祉課フロア内

電話

027-898-6890

ファックス 6892

ファックス

027-223-8325

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法の、「自立にむけた相談支援機関」として開設されたセンターです。
前橋市の委託事業として前橋市社会福祉協議会が運営しています。

当センターは社会福祉士資格を持つ主任相談支援員他10名体制で市民の方からの様々な相談支援に当たっています。

センターの特徴は、市福祉事務

所内にあり、生活保護担当や関係部署と連携しながら支援を進めており、生活福祉資金貸付事業等の相談窓口も併設し、ワンストップで相談対応ができるようしています。

「収入が減りこれからの生活が不安」「就職活動をしているがなかなか決まらない」などの相談者のお悩みを丁寧に取り、相談者が地域で自立した生活ができる

経営相談 Q&A

Q 職員Xの初任給に誤り(本来の初任給より2万円ほど高く格付け)があったことに採用後3年経って気づき、誤りに気づいた翌月から、給与規程で定めている初任給の格付け基準をもとに、給料を2万円ほど引き下げることにしました。

しかし、職員Xは給料引き下げに納得していません。
このような場合、どのように対処したらよいでしょうか。

A 結果として、3年間誤った給料を黙認してしまったことになり、過去の判例からも、本人の同意なくして、不利益変更である給料の引き下げはできないこととされています。

しかしながら、本人の同意を得ることは困難なようですので、何らかの形で和解する(和解金の支払い等)方向で、検討せざるを得ないと思われます。

和解にあたっては、トラブルを避けるため、代理人(弁護士)をたてる方がよいと思います。

バスツアー開催のお知らせ!!

- 目的…福祉・介護職に興味のある方に対し職場の雰囲気やサービス内容を知っていただき、福祉・介護分野への理解を促進するとともに、有効求人のある事業所との効果的なマッチングを図ることを目的に開催。
- 日時…平成27年12月1日(火) 9:30~15:30(予定)
- 集合場所…群馬県社会福祉総合センター(前橋市新前橋町13-12)
- 見学先…社会福祉法人三愛荘(障がい)・社会福祉法人榛永会(高齢)
- 定員…30名(要予約・先着順)



※詳細は県福祉マンパワーセンターへお問い合わせください。 ☎027-255-6600

「福祉の仕事相談コーナー」をご利用ください。

県内ハローワーク等にキャリア支援専門員が出向き、福祉の仕事に関する個別相談を実施しています。

- 福祉の仕事内容について知りたい
- 福祉関係資格の取得方法について知りたい
- 自分にあった就職先が知りたい
- …など様々な相談に応じます。お気軽にご利用ください。

相談無料・予約不要・秘密厳守
安心してご利用ください。

福祉の仕事相談コーナー開設日

開設場所	開設日時	問い合わせ先
ハローワーク沼田	毎月第1火曜日 13:30~15:30	県福祉マンパワーセンター TEL027-255-6600
ハローワーク渋川	毎月1回 日時はお問い合わせください。	
ハローワーク中之条	毎月第4月曜日 13:30~15:30	
職業支援センターいせさき	毎月第4木曜日 13:30~15:30	
伊勢崎市社会福祉協議会(境支所)	偶数月第4金曜日 13:30~15:30	高崎市福祉人材バンク TEL027-324-2761
ハローワーク高崎	毎月第4金曜日 9:30~12:00	
ハローワーク富岡	毎月1回 日時はお問い合わせください。	
ハローワーク安中	毎月第3火曜日 9:30~11:30	太田市福祉人材バンク TEL0276-48-9599
ハローワーク桐生	毎月第2水曜日 13:30~15:30	
ハローワーク館林	毎月第3火曜日 13:30~15:30	

夏目表紙

素敵な笑顔



救護施設 緑荘 岡部和義さん

救護施設 緑荘で働いて9年目。仕事の魅力や長続きの秘訣など、これまでを振り返りながらお話を伺いました。

※どんなお仕事ですか？

入所されている利用者さんの生活支援が主な仕事です。また利用者さんが一日にこなす軽作業の補助や、時には精神的ケアとして話し相手になったりもします。

救護施設という場所は、生活保護を受けている方の中でも、知的・精神的・身体的障害のある方たちが入所する施設です。年齢層も40代から80代と幅広く、様々な症状の方がいらした丁寧な接し方を心がけています。

※福祉職を志したきっかけは？

実は私自身が祖父母を早くに亡くして、幼いながらにお年寄りの方々と接したいという気持ちがあり、高校卒業後は福祉の専門学校に進学しました。

※仕事でのやりがい、魅力は？

利用者さんの楽しそうに過ごす様子や、嬉しそうな顔を見ると私も嬉しい気持ちになります。勤めるうちに、自分の中で福祉に対する誇りが大きくなるのを感じ、今となってはこの仕事に就いてよかったと心から思えます。

また、緑荘の場合は、知的、精神的、身体的障害のある方など、多様なニーズの方が入所されます。そういった意味では常にいろんなタイプの方と接する機会があるので勉強になりますし、やりがいを感じます。毎日何が起ころかわか

らないという危機感もありますが、それもまた身が引き締まり、刺激のある日々ですね。

※仕事を長く続ける秘訣は？

「気持ちの切り替え」ではないでしょうか。私自身があまり思い悩まない性格なのもあるとは思いますが、問題が起きたときにはできるだけその場で解決するように努めています。人によつては仕事が終わりに帰っても、思い悩んでしまう人もいますが、職場と家ではスイッチを切り替えることも時には必要ですよ。

※福祉職を目指す方へメッセージ

長く務めた分だけ辛い経験もありますが、それ以上に嬉しいことやこともたくさんあるのが、この仕事の魅力です。福祉職を目指すきっかけは人それぞれだと思いますが、きっと誰しもが働く中で「利用者さんの幸せ」を願っていることに違はないと思います。福祉に携わる者として、みんなと同じ目標に向かって頑張っていきたいように。

※最近ハマっていること

去年の秋からジョギングを始め、雨の日と夜勤の日以外は毎日走っています。もう8キロくらい走りました。もともと体を動かすことが好きでしたが、仕事も体が資本なので、体力作りや健康維持のために走っています。

「この仕事に就いて良かった」と素直に言える、そんな仕事にめぐり合えた岡部さんは、表情も言葉もとても生き生きと輝いていました。

編集/発行 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

TEL 027-255-6600(専用郵便番号)

群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター内

TEL 027-255-6033(代表)

FAX 027-255-6173

URL http://www.g-shakyo.or.jp/

発行日 平成27年10月1日